

1. 基本理念

(1) 基本理念

人にも まちにも 思いやり。未来へつなごう 誇れるいけだ。

いきいき歩ける あんしんのまち

あいさつ交わし ゆずりあうまち

次世代へつなごう わたしたちのまち

(2) 基本的な方向性

いきいき歩ける あんしんのまち

すべての人が、「いきいき歩ける あんしんのまち」をつくるため、まちのバリアフリー化を進めます。

「交通バリアフリー法」(注1)の趣旨に沿って、「ユニバーサルデザイン」(注2)の視点をもって、鉄道駅やその周辺の歩行者空間などの整備を、重点的・一体的に行います。

(注1)交通バリアフリー法...「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」(p.4～5参照)

(注2)ユニバーサルデザイン...障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう、都市や生活環境をデザインする考え方

あいさつ交わし ゆずりあうまち

すべての人が「あいさつ交わし ゆずりあうまち」をつくるため、心のバリアフリー施策を進めます。

まちの活性化の視点もふまえ、啓発・教育・人的支援などの活動に、積極的に取り組みます。

次世代へつなごう わたしたちのまち

これからの時代を生きる子どもたちに、「わたしたちのいけだ」と、愛着や誇りをもてるまちをつくるため、世代や立場をこえた大きな連携のもと、たゆまぬ努力を続けます。

参考1：この基本理念は、ワークショップなどの市民意見から生まれました。

平成17年7月23日、「人にやさしいまちをめざして」をテーマとして、高齢者、障害者、子ども連れなどを含む市民132名が集まり、ワークショップを行いました。

8つのグループに分かれて、駅周辺の課題の改善アイデアと共に、基本理念のことばを考えてもらいました。

寄せられた沢山のアイデアやキャッチフレーズの中から、特に重要なもの、人気のあるものを抽出し、基本構想策定委員会（参考2）での検討を経て、この基本理念が決まりました。



図 1.1 ワークショップの状況

参考2：この基本構想は、「池田市交通バリアフリー基本構想策定委員会」を設置して、多くの関係者の参画により策定しました。

この基本構想の策定にあたっては、「池田市交通バリアフリー基本構想策定委員会」を設置し、学識経験者、市民代表（高齢者代表、障害者代表、商業者代表、公募市民）、道路管理者、公安委員会、交通事業者など、多くの関係者の参画により検討を進めました。また、アンケートやワークショップ、池田市民環境大学「ひとと環境にやさしい交通まちづくり市民講座」との連携などを通じて得られた、高齢者、障害者、子ども連れなどからの幅広い意見をふまえ、策定を行いました。

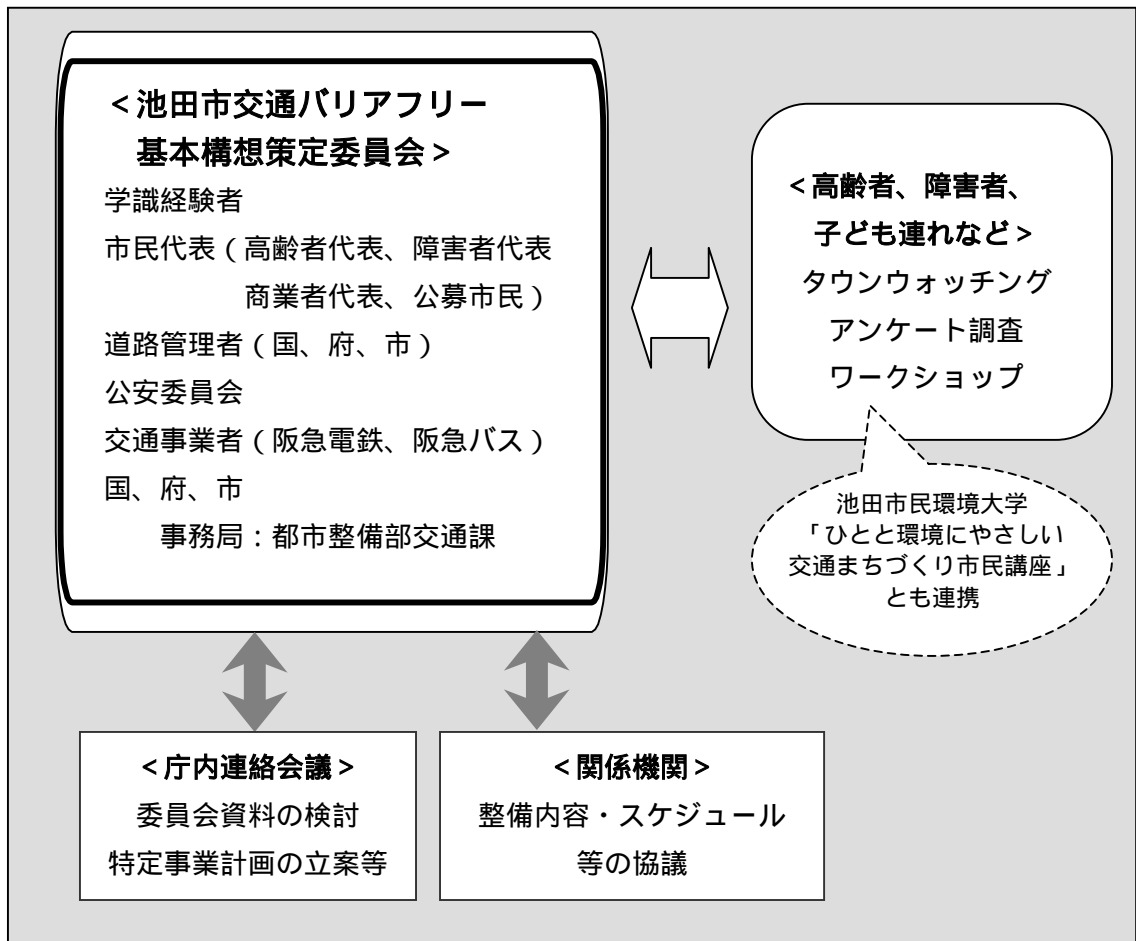


図 1.2 策定の体制